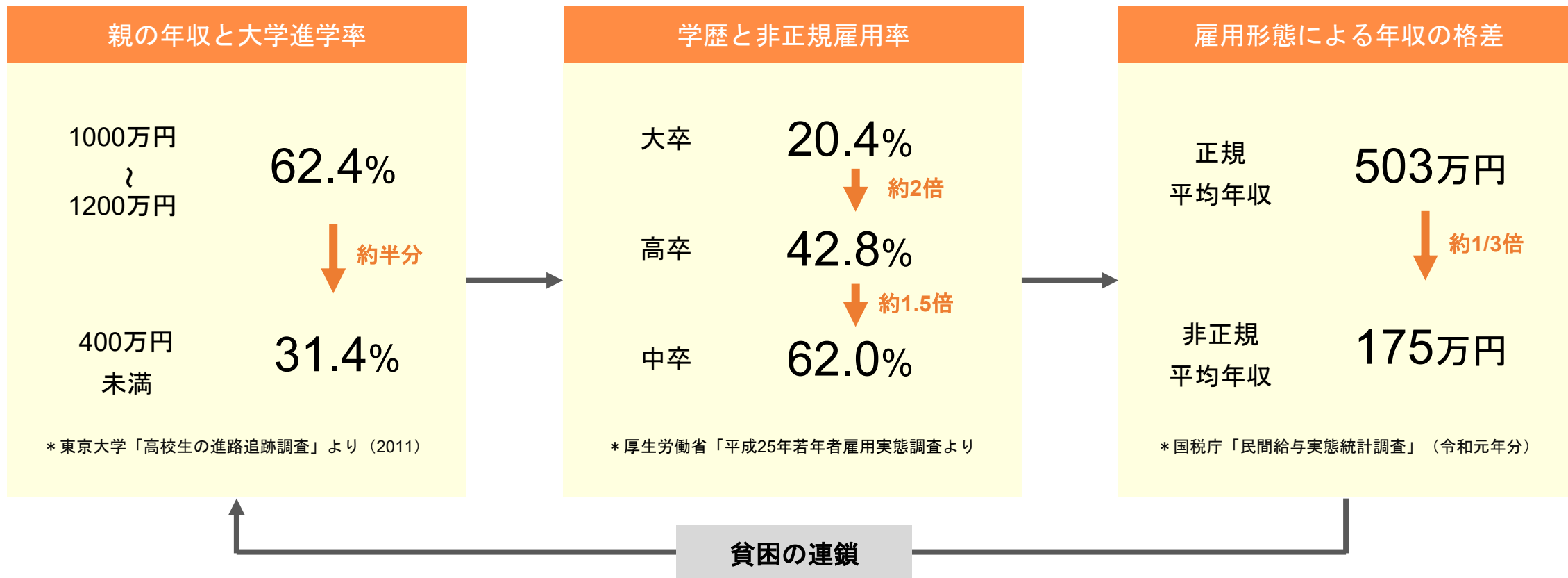


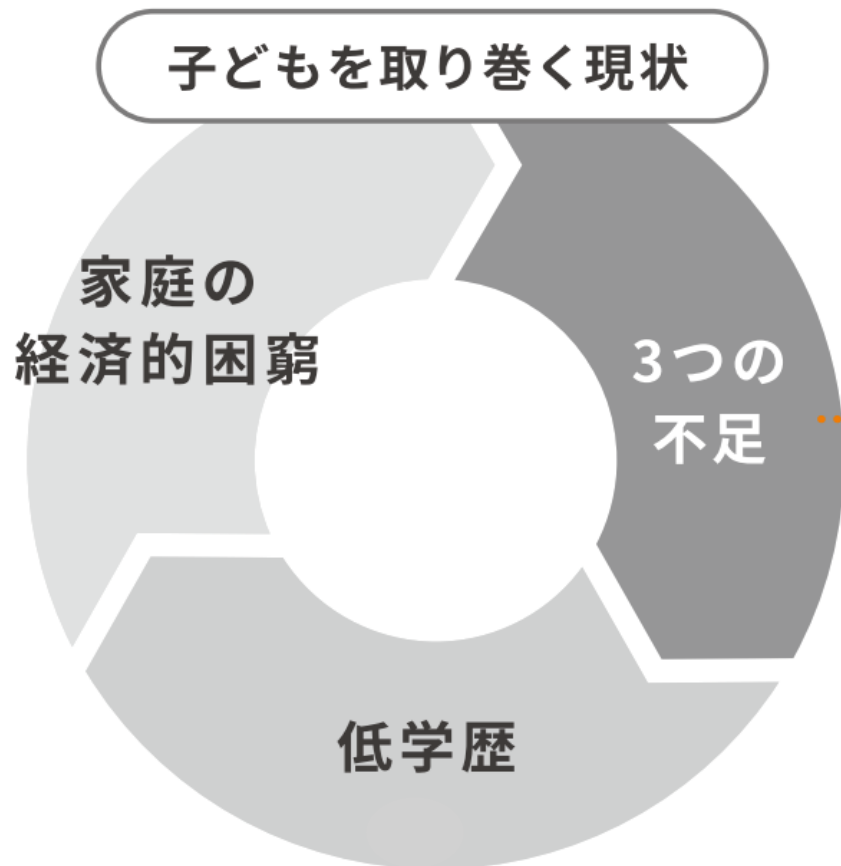


困難を抱える高校生を対象とした
プログラミング学習支援・キャリア支援事業

1. 課題意識と事業目的
2. 事業内容
3. 実施内容の報告

親の年収が学歴や雇用形態に影響を与えた結果、子どもたちの年収にも格差が生まれ、
世代を超えて貧困が連鎖する社会構造がある





CLACKが注目する3つの不足

01 経験

学習の基盤となる知的好奇心や学習への姿勢などは幼少期の活動の中で育めます。経済的な困窮は様々な経験の妨げにもなり、経験の不足が生まれます。

02 つながり

周囲には親と同じ社会階層の大人が多く、学ぶことや働くことのイメージが偏ってしまいます。また、困ったときに助けてくれる大人やロールモデルとなる大人も少ない傾向にあります。

03 考え方

親の関わり方によっては、長期的な視点で計画を立てる力が養われなかったり、周囲と円滑にコミュニケーションをとることが必要だと思えないようになります。消費的な思考になることが多く、さらに困難から脱しにくい状況が生まれます。

ひとり親、経済困窮、不登校、外国ルーツ、発達障害などのさまざまな困難を放置すると
孤独・孤立状態に陥り、将来自立するのが難しい状況になる



1. 課題意識と事業目的
2. 事業内容
3. 実施内容の報告

プログラミング教育とキャリア教育を行うことで進路の選択肢を広げ、
経済的自立と精神的自立につなげていく

01 プログラミング教育



プログラミングを学び、
自分でWebサイト/サー
ビスを作れるようになる
まで講師が寄り添ってサ
ポートする。

02 キャリア教育



今後の生活に必要な
お金、進路選択、働
き方、IT知識などにつ
いてワークショップや交
流会を開催する。

プログラミング教育とキャリア教育で身につく力



プログラミング IT知識

これからの社会
で必要になるプ
ログラミングス
キル、IT知識や
PCの基本的な操
作を身につける



自己肯定感

大学生、社会人
といった様々な
人に支えられな
がら学ぶ経験を通
じて、自己肯定
感を身につけて
いく



学習意欲

プログラム教育
とキャリア教育
を通して、新し
いことを学ぶこ
と力や振り返り
学ぶ力を身に
つけていく



問題解決能力

プログラミング
教育とキャリア
教育の中での検
索や質問を重
ね、情報を集
め、活用する力
を身につける

プログラミングの基礎から実際にアウトプットも行い、問題解決能力も身につける。
社会人エンジニアが基礎の習得から発展的な学習をサポートする

プログラミングの学習内容

コース	内容
webアプリ	・ HTML、CSS、JavaScriptでwebアプリをつくる
webサイト	・ HTML、CSS、JavaScriptでwebサイトをつくる
ゲーム	・ HTML、CSS、JavaScript、Python、unityなどでゲームをつくる

成果 発表会	制作したもの（WEBサイト、アプリ等）を 発表する場を持つ
-----------	----------------------------------

社会人エンジニアの役割

マネージャー

役割 各チームの運営や管理

要件 プログラムの運営・管理経験
プログラミングの実践経験

ボランティア

役割

- ・ 高校生の学習サポート
- ・ キャリアサポート

要件 プログラムの運営・管理経験
プログラミングの実践経験

プログラミングスキルや学ぶ力だけでなく、
身近な大人から社会の実態や仕組みに関する知識も学ぶ

進学費用



学費や奨学金など、進学に
必要費用を考える

進路



就職や進学それぞれのメリッ
トやデメリットを知る

進路



IT企業に行き、ITエンジニアが実
際に働いている姿を見学に行
く。働くことそのもの、エンジ
ニアの働き方などをより具体的
にイメージできるようになる

金融リテラシー



働き、生活する上で必要な
お金や仕組みを知る

情報検索



生活に必要な情報を獲得する
ための方法を学ぶ

キャリアトークセッション



実際にIT企業で働くエンジニア
を中心とした社会人の経験をベ
ースにキャリアについて話すこ
とで、高校生のキャリアイメー
ジを広げていく

経済的な理由から参加を見送ることがないように、
「完全無料」「PCの支給」「交通費補助」の3つのサポートを用意している

01

完全無料



授業料、教材費ともに完全無料で社会人エンジニアや大学生がプログラミング学習のサポートをします。

02

PCの無料支給



Tech Runway修了後に継続して学んだり、情報収集ができるようにPCを1人1台支給しています。

03

交通費の支給



家庭が経済的に厳しい状況であってもTech Runwayに参加できるように交通費を支給しています。

ITを使って働くために必要な技術を実践の中で身につけることで、
困難を抱える高校生が本当に自走できる状態をつくる

クエスト

受託したweb制作、開発案件を仕事として高校生に渡し、難易度の低い
業務で実践し、就労につながるITスキルを身につける



Web製作として
5ページ受託

切り出して仕事として
高校生に渡す

トップページの一部を
高校生が製作

コーポレート（会社）サイトの制作事例

有限会社
野見山建設



1. 課題意識と事業目的
2. 事業内容
3. 実施内容の報告

■ 実施日程

- ・ 月2回 土曜日14:00-16:30に教室を実施
2025年4月～2026年3月末までの実施回数：12回
- ・ 述べ参加人数：237人

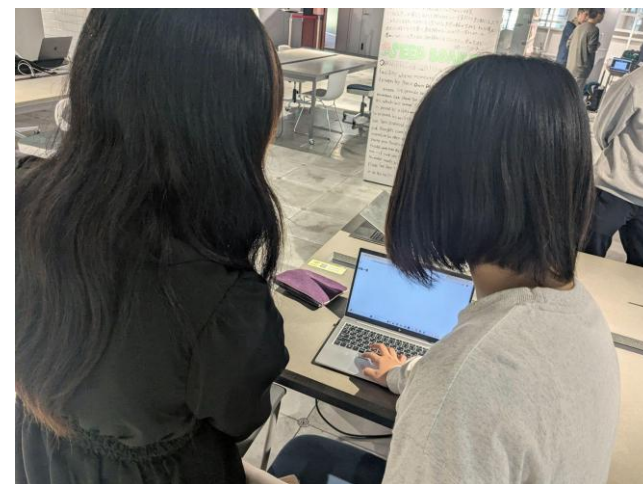
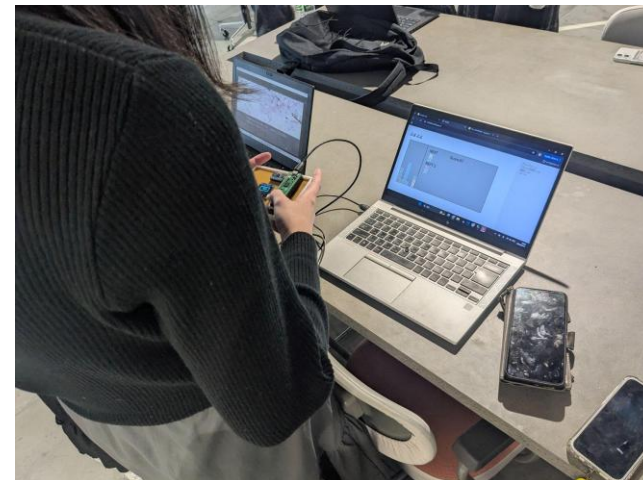
■ 参加者の声

Aさん

四か月間でAIをうまく使ってプログラミングを学べて、新たにITパスポートの資格を取る目標ができて有意義な時間を過ごせたと思います。

Bさん

最近は家でもパソコンを開いてプログラミングをできているので、以前よりも時間をうまく使えるようになった気がして成長できたように感じます。また、毎回ですが、いつも人と話したり、プログラミングをしたりと楽しく過ごせました。



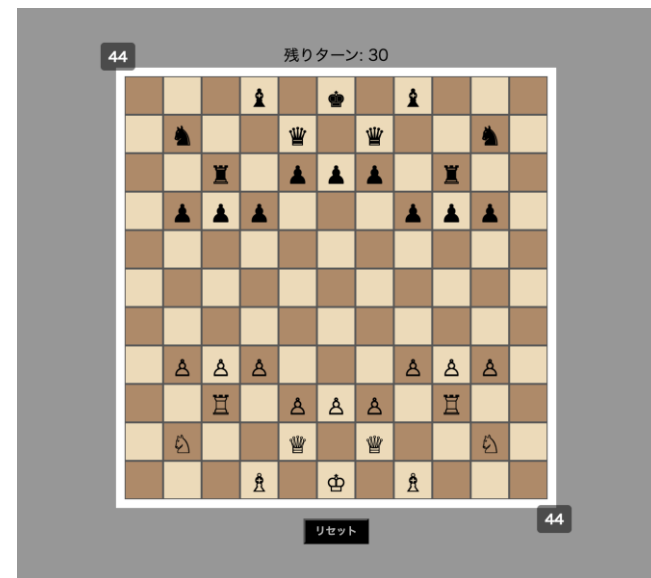
参加した高校生の制作したWebサイト



高校生が自分で作成するWebサイトや、制作するまでの計画を決める
3ヶ月で実際に動く成果物を参加するすべての高校生が作成します



自作のTODOリストを管理できるサイト



将棋とチェスを合体させた自作ゲーム